

**関市地域公共交通活性化・再生総合事業計画
(3年度事業計画検討用)**

(2) 全体事業計画の事業スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印(←→)、または横棒線(——)で記載。

事業の名称	平成21年度				平成22年度				平成23年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
西ウイング地域(関板取間)の実証運行	実証運行								本格運行開始			
東ウイング地域(関上之保間)の実証運行	実証運行								本格運行開始			
中山間地域内交通の実証運行	----- 実施計画期間 -----								実証運行			
買物循環線(ショッピングセンター巡回線)の実証運行	----- 実証運行 -----								本格運行開始			
病院循環線(医療・保健施設巡回線)の実証運行	----- 実証運行 -----								本格運行開始			
マーゴ東山線(乗継拠点間運行)の実証運行	----- 実証運行 -----								本格運行開始			
関地域内支線バスの実証運行	----- 実証運行 -----								本格運行開始			
関地域内ダイヤモンド運行の実証運行	----- (実証運行) -----								本格運行開始			
待合環境整備・乗継拠点施設整備(待合施設、バス停留所整備)	-----											
利用促進イベント、広報・PR	-----				公共交通シンポジウム開催				-----			
モビリティマネジメントの実施	-----				-----				-----			
交通マップ、時刻表の作成	作成 ● 配布				-----				作成 ● 配布			
運行情報案内板、乗継案内板					----- システム検討 -----				システム構築 導入			
バスロケーションシステムの導入					----- システム検討 -----				システム構築 導入			
運賃体系、運賃制度	準備 定期券の導入・				乗継割引等調整 導入							
ICカード導入					----- 岐阜バスとの調整 -----				システム構築 導入			
事業評価・見直し	-----				-----				-----			

4-2. 2年度（平成22年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
・地域間幹線バス、地域内交通（バス・デマンド交通）の実証運行	・実証運行を引き続き行うと共に、バスの利用状況、運行状況調査を行い、本格運行を行うための課題の整理や運行改善を行う。	関市 バス事業者 交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・バス等の利用者数の増加 ・公共施設、病院、大型商業施設等へのアクセス向上 ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上 ・行政コストの抑制 ・過度に自動車に依存しないまちづくり
・乗継拠点整備（バス停留所整備）	・公共交通ネットワークに必要な乗継拠点の整備として、利用者利便を高めるための整備を行う	関市	
利用促進イベント 広報・PR	・シンポジウムを開催し、公共交通の実態を情報発信する。	法定協議会	
・事業評価、運行状況調査	・アンケートなどによる利用状況調査を行う	法定協議会	
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
西ウイング地域（関板取間バス）の実証運行	75,433千円	37,717千円	37,717千円
東ウイング地域（関上之保間バス）の実証運行	50,405千円	25,202千円	25,202千円
関地域内買物循環バスの実証運行	17,316千円	8,658千円	8,658千円
関地域内病院循環バスの実証運行	17,626千円	8,813千円	8,813千円
関地域内マーゴ東山線の実証運行	14,342千円	7,171千円	7,171千円
関地域内の支線バスの実証運行（4路線）	22,718千円	11,359千円	11,359千円
関地域内のデマンド運行の実証運行（4路線）	21,560千円	10,780千円	10,780千円
乗継拠点整備 バス停留所整備	3,000千円	1,500千円	1,500千円
公共交通シンポジウム 利用促進・PR	1,080千円	540千円	540千円

事業評価調査	8,000千円	4,000千円	4,000千円
小計	231,480千円	115,740千円	115,740千円

4-3. 3年度（平成23年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
・地域間幹線バス、地域内交通（バス・デマンド交通）の実証運行	・実証運行の最終年として総合的に評価し移行運行を決定する。	関市 バス事業者 交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・バス等の利用者数の増加 ・公共施設、病院、大型商業施設等へのアクセス向上 ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上 ・行政コストの抑制 ・過度に自動車に依存しないまちづくり
・中山間地域内の交通の実証運行	・2年間の実施計画により決定された運行形態で実証運行を開始する	関市 NPO法人等 地元住民組織	
・乗継拠点整備	・公共交通ネットワークに必要な乗継拠点の整備として、利用者利便を高めるための整備を行う	関市	
・バスマップ、時刻表の作成	・運行情報を提供するためバスマップ等を全戸配布する。（本格運行）	関市	
・運行情報案内板、乗継案内板	・乗継拠点や長良川鉄道駅に設置し、利用者の利便性を向上する	関市 交通事業者	
・バスロケーションシステム	・乗継拠点などの主要な停留所や交通施設に設置し、利用者の利便性を向上する。	関市 交通事業者	
・ICカード導入	・岐阜バスとの相互利用が可能なシステムを導入する	関市 岐阜バス	
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
西ウイング地域（関板取間バス）の実証運行	37,716千円	18,858千円	18,858千円
東ウイング地域（関上之保間バス）の実証運行	25,202千円	12,601千円	12,601千円
中山間地域内の交通の実証運行	42,850千円	21,425千円	21,425千円

関地域内買物循環バスの 実証運行	8,658千円	4,329千円	4,329千円
関地域内病院循環バスの 実証運行	8,813千円	4,406千円	4,407千円
関地域内マーゴ東山線の 実証運行	7,171千円	3,585千円	3,586千円
関地域内の支線バスの実 証運行（4路線）	11,359千円	5,679千円	3,680千円
関地域内のデマンド運行 の実証運行（4路線）	10,780千円	5,390千円	5,390千円
乗継拠点整備	3,000千円	1,500千円	1,500千円
交通マップ、時刻表の作成	5,000千円 1,260千円	2,500千円 630千円	2,500千円 630千円
運行情報案内板・乗継案内 板	42,000千円 0千円	21,000千円 0千円	21,000千円 0千円
バスロケーションシステ ム導入（あしあとランプ）	73,500千円 1,700千円	36,750千円 850千円	36,750千円 850千円
ICカード導入	26,000千円 4,541千円	13,000千円 2,271千円	13,000千円 2,271千円
小計	302,049千円 163,050千円	151,024千円 81,524千円	151,025千円 81,526千円